

第69回全日本総合バドミントン選手権

5 土 「準決勝」BS1 後0:00~2:50

6 日 「決勝」BS1 前10:00~2:50

※4回「3回戦」BS1 後0:00~1:50

バドミントン日本一決定戦、女子シングルス・山口の連覇は？

バドミントンの5種目（男女シングルス&ダブルス、混合ダブルス）で日本一を決める大会。舞台は東京・渋谷の代々木競技場第二体育館だ。

まず男子シングルスは、2年連続3回目の優勝を目指す佐々木翔、前回負傷のため棄権し、大会7連覇を逃した田児賢一、リオ&東京五輪の中心世代となる21歳の桃田賢斗の3人が優勝争いを引っ張りそう。上田拓馬、坂井一将、武下利一らランキング上位者も食らいつぎたい。男子ダブルスは、4連覇を狙う早川賢一&遠藤大由（ひろゆき）と、前回準優勝の平田典靖&橋本博且（はしもと）ペアが軸になる。そして女子シングルスは、

前回17歳で新女王の座に就いた山口茜に注目。山口は先日の国際シニア大会ビットブルガー・オープン（ドイツ）で優勝するなど好調で、連覇の期待がかかる。前回準優勝の三谷美菜津、同4強の橋本由衣、9月のヨネックスオープン決勝で山口を破った4年前の覇者・奥原希望らが山口を追う。女子ダブルスは、前回決勝を争った福万尚子&與猶くるみ（よ）ペアと栗原文音&篠谷菜留（しのぶ）ペア、前回4連覇を阻まれた高橋礼華&松友美佐紀（みさ）ペアがしのぎを削る。

混合ダブルスは、早川賢一&松友美佐紀（みさ）ペアの大会3連覇なるか。5種目とも大いに盛り上がりそうだ。



©YUTAKA77/アスキー

山口は現在、福井県の勝山高3年に在学中。来春から実業団の再春館製薬所（熊本）入りが決まっている。11月19日発表の世界ランキングは日本勢で奥原の9位に次ぐ10位。